(公社)岐阜県山林協会
令和七年度定時総会開催

去る八月七日、岐阜市のホテルにおいて令和七年度定時総会を開催しました。

山内会長

開会にあたり、山内会長からは、「温暖化対策として高まる森林への期待に応えるため、「伐って、使って」、「また植える」循環型の森林づくりを推進し、若返りによる二酸化炭素の吸収力の高い森林に再生する必要がある。一方で、住宅着工数は減少しており、加えて人口減少に歯止めがかからない中、将来的に木材需要の減少や森林整備への悪影響が懸念される。今後は林業の効率化のため、スマート林業やサプライチェーンの構築、森林技術者の育成などを強力に進める必要がある。

さらに近年の集中豪雨などの多発や、能登半島地震のような大規模な地震発生の切迫性も指摘され、国土強靭化に対する要請は益々高まっている。協会としても、これら様々な課題をしっかり把握し、国や県に届けるため、要望活動などに積極的に取り組む。」と挨拶がありました。

江崎 岐阜県知事

続いて来賓の江崎岐阜県知事からは、「山の価値は昭和55年以降下がっている。価値を高めるには林道が必要であるが、境界の調査済みの森林は23％しかなく、これが開設を阻んでいる。解決のためには、所有権を移管できる仕組みの構築が必要である。先般もこの課題を林野庁に提言したところで、同じ森林県の長野県とは連携して取り組むこととした。自然と共生した強い国づくりを進める。」と力強いお言葉をいただきました。

林野庁 山田 森林土木専門官

また、林野庁長官代理の山田整備課森林土木専門官からは、「多発する自然災害に対し、国民の安心・安全への要請は益々高まっている。六月に閣議決定した『第一次国土強靭化実施中期計画』に基づき、山地災害危険地区における治山対策などにきめ細かく取り組む。」とご挨拶をいただき、県議会小原議長、日本治山治水協会の北浦部長からもそれぞれご祝辞を賜りました。

その後の議事では、令和六年度事業報告と収支決算、令和七年度の会費の額など議案が原案どおり承認されました。

令和7年度 役員一覧

会長 山内 登（下呂市長）

副会長 藤原 勉（本巣市長）
可児 登（可茂森林組合長）
髙井 峰好（学識経験者）※専務理事を兼務

理事 林 宏優（山県市長）
岡部 栄一（揖斐川町長）
山下 清司（関市長）
山川 弘保（郡上市長）
佐伯 正貴（白川町長）
水野 光二（瑞浪市長）
小栗 仁志（中津川市長）
都竹 淳也（飛騨市長）
成原 茂（白川村長）
上川渡福雄（飛騨市森林組合長）

監事 石田 仁（大垣市長）
川邉 武（中津川市森林組合長）
神原 和義（岐阜県森林組合連合会常務理事）

また、総会に先立ち令和七年度治山林道工事コンクールの最優秀・優秀の受賞者七名に賞状と副賞の授与が行われました。受賞の皆様誠におめでとうございます。

知事賞の受賞者（東白川村長）

山林協会長表彰の受賞者

なお、各部門の最優秀表彰者は（一社）日本治山治水協会・日本林道協会主催の全国治山林道工事コンクールに岐阜代表として推薦します。

令和７年度治山林道工事コンクール受賞者のご紹介

最優秀

写真１

写真２

写真３

優　秀

写真４

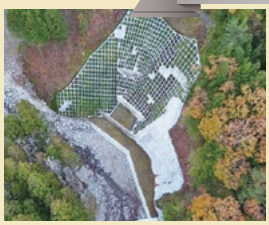
写真５

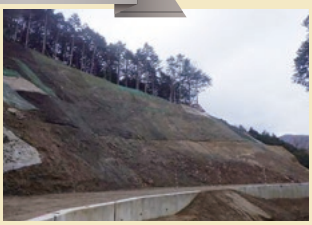
写真６

写真７

■受賞者一覧

部　門	表彰区分	写真番号	工事名（路線名）	受　賞　者　名
林道維持管理	最優秀	①	林道加茂東線	東白川村
	優秀	④	林道川向線	恵那市
治山工事	最優秀	②	流木防止総合対策事業 薄ケ洞工事	株式会社横田工務店（関市）
	優秀	⑤	公共復旧治山事業（ゼロ国）樋口地区工事	株式会社大清（下呂市）
	入選		県単治山事業 上加納山・芥見６丁目工事	寺嶋建設株式会社（岐阜市）
	入選		復旧治山事業 湯口地区工事（補正）	株式会社桐山組（大垣市）
	入選		県単治山事業 三ツ石地区工事	丸八建設株式会社（郡上市）
	入選		公共予防治山事業 大切工事	株式会社栗山組（坂祝町）
	入選		公共復旧治山事業（０国）出ヶ谷地区工事	付知土建株式会社（中津川市）
	入選		公共復旧治山工事（大久手）	大山土木株式会社（高山市）
林道工事	最優秀	③	公共林道開設工事（尾城山線２－１、２－３工区）	株式会社立保（東白川村）
	優秀	⑥	林道三倉～上ヶ流線（久瀬工区）開設工事	株式会社ヤマモト（揖斐川町）
	入選		林道二間手～水沢上線（２－２工区）開設工事	西脇建設株式会社（郡上市）
	入選		森林基幹道 三森山（１）線開設工事	株式会社佐々木工務店（中津川市）
林道木材使用工事	優秀	⑦	森林基幹道 尾城山（５）－２線開設工事	恵那農林事務所林業課